

# 三ツ木 摩理・山田 剛史

Mari Mitsugi & Takashi Yamada Duo Recital Music as Communication vol.13

対話の音楽  
Vol.13

## デュオ・リサイタル



### Program

ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第3番 変ホ長調 Op.12-3

*Ludwig van Beethoven: Sonate für Klavier und Violine Nr.3 in Es-Dur Op.12 Nr.3 (1797-98)*

クセナキス：ディクタス

*Iannis Xenakis: Dikhhthas (1979)*

シューマン：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 ニ短調 Op.121

*Robert Schumann: Sonate für Violine und Klavier Nr.2 in d-Moll Op.121 (1851)*

2021年5月23日 日  
14:00開演(13:30開場)

 MUSICASA

ムジカーザ 小田急線・東京メトロ千代田線  
代々木上原駅 東口より徒歩2分

全席自由：一般 4000円 / 学生 3000円

お問い合わせ・チケット取扱：オフィスMAC(山田)

TEL:090-1711-5436

E-mail: officemac.duo@gmail.com





# 三ツ木 摩理・山田 剛史デュオ・リサイタル

対話の音楽  
Vol.13

Mari Mitsugi & Takashi Yamada Duo Recital Music as Communication vol.13

2021年5月23日 日  
14:00開演(13:30開場)

## Profile

### ヴァイオリン 三ツ木 摩理(みつぎまり)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。同大学研究科修了。ヴァイオリンを春山みどり、上西玲子、辰巳明子各氏に師事。第17回より草津夏期国際音楽アカデミーに参加し室内楽奨学金を2回授与される。

MMCK ミュージック・マスターズ・コース in かずさ(大友直人、アラン・ギルバート氏ら芸術監督)に参加。世界各地から集まった演奏家とともに弦楽四重奏やオーケストラのコンサートマスターとして各地で演奏会に出演。

近年ではワーグナーを中心に取り組むプロジェクトのコンサートマスターとして活躍。日本人女性で初めて『神々の黄昏』のコンサートマスターを務める。その他、国内外の音楽祭、演奏会に出演。プロオペラ団体やオーケストラのゲストコンサートマスター、ソリスト、室内楽奏者として活動する傍ら、2007年よりアレクサンダー・テクニークを、加えて近年では解剖学、フェルデンクライスを学び始め、身体的な面からの演奏指導にも力を入れている。

### ピアノ 山田 剛史(やまだ たかし)

東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了、クロイツァー賞受賞。ローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてケルン音楽大学に留学、国家演奏家試験に合格。クラウディオ・ソアレス、迫昭嘉、ニーナ・ティシュマン、アントニー・シピリの各氏に師事。

2007年第5回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および聴衆賞受賞。ソリストとして、秋山和慶氏指揮東京交響楽団はじめ、多くのオーケストラと共演。とりわけバッハと近現代作品に親しみをもつ。イギリス組曲(全6曲)やゴルトベルク変奏曲、平均律第1巻など、バッハの作品によるリサイタルを行うほか、「音の遊び」「音の万華鏡」と題した、バロックから現代までのさまざまな作品をテーマに沿って組み合わせたりサイタルが好評を博している。室内楽・歌曲伴奏にも定評があり、多くの演奏家から信頼を得る。東京オペラシティ『B→C』、東京・春・音楽祭等に出演。

現在、国立音楽大学および東京学芸大学非常勤講師。



MUSICASA

小田急線・東京メトロ千代田線 代々木上原駅 東口より徒歩2分

